

研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 眼科学教室

記

研究の名称	黄斑上膜剥離時に可視化剤としてトリアムシノロンとブリリアントブルーGを使用した際の手術成績
対象	2018年1月1日から2023年6月30日までの期間に黄斑上膜に対して硝子体手術を施行された患者さんのカルテ上のデータを研究に利用いたします。本学では、約100例を予定しています。
研究期間	2023年10月23日 ~ 2028年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：黄斑上膜は網膜のものを見る中心部分である黄斑部の表層に膜が張る疾患で、視力低下や歪みを来す原因となります。治療は硝子体手術にて膜を剥離する以外になく、手術はトリアムシノロンアセトニドまたはブリリアントブルーGという可視化剤を用いて行います。本研究ではそれぞれの可視化剤を用いた際の手術前から手術後にかけての視力と網膜の厚みのデータを収集し、比較し検討することにより両者の網膜形態への影響と視力の関連を明らかにすることが目的です。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：2023年10月23日</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	情報：年齢、性別、視力、手術内容、光干渉断層計画像 等

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 大須賀 翔 殿

研究の名称	黄斑上膜剥離時に可視化剤としてトリアムシノロンとプリリアントブル -G を使用した際の手術成績
-------	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄:)

住所

氏名(自署)